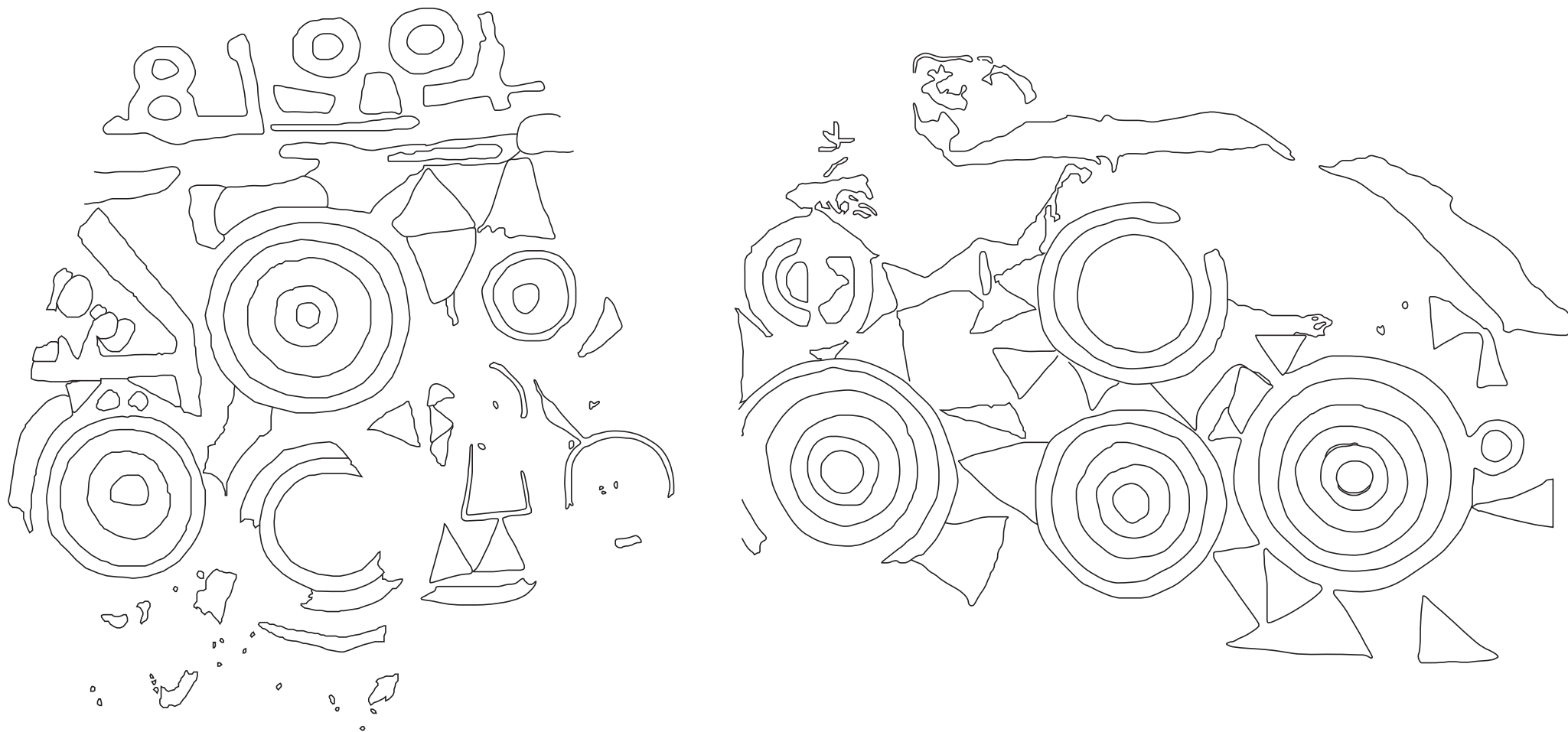


©OZAWA Taro 2012 出典:環有明海歴史考古学研究所 [新・筑紫潟の風<http://tsukushigata.webcrow.jp/>] 連絡先e-mail: rekikouken@gmail.com





後室奥壁

◆地徳古墳 [じとくこふん]

所在地：福岡県久留米市田主丸町益生田

立地：耳納山麓の扇状台地 標高約33m

墳形：円墳（径18.9m、高さ4.5m）

石室：横穴式石室（複室）

時期：6世紀末

出土品：須恵器・馬具・鉄鏃・金環・勾玉等

図文：同心円文・円文・三角文・船・盾
文様構成は日岡・下馬場古墳と類似

色：赤・緑

位置：玄室奥壁・左右壁、玄門外側、前室
左右側壁、前門左袖内

調査：平成9・10年

参考：『国史跡・寺徳古墳』田主丸町文化財調査報告書第18集、2001年



前室左側面